

公の施設事業報告書

令和 6 年 5 月 31 日

下妻市長 様

所在地 茨城県下妻市数須 140 番地

名 称 株式会社ふれあい下妻

代表者氏名 菊池 博

電話番号 0296-30-52

下妻市公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例第 11 条の規定により、次のとおり令和 5 年度事業報告を提出します。

1、公の施設の名称

道の駅しもつま

2、管理業務の実施状況

別紙参照願います。

3、利用状況及び利用拒否の件数・理由

別紙参照願います。

4、使用料又は利用料金の収集実態

別紙参照願います。

5、管理経費の収支状況

別紙参照願います。

6、その他

令和 5 年度 営業報告書
(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

1. 営業状況

(1) 全体の状況

令和 5 年度の営業状況は、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い国民生活が徐々に正常化する中、今年度は、昨年度以上の売上高をキープする難しさと近隣に開業された「道の駅常総」の動向を意識しながら「道の駅しもつまスタイル」の確立をテーマに従業員の創意工夫の基、過去最高の売上高 8 億円代となりました。

主な取組として

- ① 「道の駅グランテラス筑西」が開業された年に学んだ経験を活かし従業員の「挨拶の徹底」・「商品知識」・「おもてなしの精神」等、サービスの向上や「話題性のある商品販売」に注力いたしました。
- ② 「道の駅常総」利用者が当駅にも来店してもらえるよう、国道 294 号線沿いにある当駅の国道看板のリニューアルをいたしました。
- ③ 毎月 1 回新聞折込広告を近隣エリアへ配布しており更に配布エリアも拡大し集客努めました。
- ④ 新しい試みとして「鮪の解体ショー」、「北海道雄武町フェア」、「他県でのイベント」にも積極的に参加いたしました。今年度は様々な取組を実施したところ 4 部門で過去最高の売上となり施設全体の売上高も過去最高となりました。また、来場者数はコロナ禍以前の水準に戻りつつあります。今年度は企画力、チームワーク、熱意が実った一年となりました。

今年度売上高 808,801 千円 (前年対比 44,894 千円増・対比率 105.9%)

(2) 各部門の状況について

【農産物直売所】

・今年度は前年度の売上をキープするため下妻市農産物出荷組合員の皆様に協力をいただき新鮮野菜や果物を中心に売場展開する他、試食販売や野菜のセット販売等、創意工夫し過去 2 番目の売上高となりました。

主な取組について

- ① 下妻市農産物出荷組合員の会員の皆様に「野菜」・「果物」等、適正価格の指導をいたしました。
- ② 下妻産「梨」・「メロン」・「スイカ」等、試食販売会を積極的に実施いたしました。
- ③ 北海道雄武町海産物フェア開催
下妻市長及び市職員と雄武町長及び職員、雄武町漁業長の協力の基に 2 日間実施いたしました。
- ④ 県外の道の駅との商品取引を開始いたしました。(愛知県新城町・山形県西川町)
- ⑤ 野菜以外には豊洲市場「鷹丸鮮魚店」の冷凍海産物販売を取入れ人気となりました。
- ⑥ 視察研修として山梨県ひまわり市場、道の駅もつくる新城、道の駅あわら、他を実施いたしました。

今年度売上高 328,939 千円 (前年対比▲14,703 千円・対比率▲4.3%)

【物産コンビニ】

・観光需要が高まり大型連休、3 連休、土日と来場者数が増加傾向となりお土産品の箱菓子、漬物類、茨城を代表する干し芋や栗商品、酒類のセット販売が人気となりました。

主な取組について

- ① 陳列棚の一部入替えを実施し「見やすく・取りやすく・買いやすく」をテーマに設置いたしました。
- ② 商品販売数のデータを基に新商品と入替を行いマンネリ化防止にも努めました。
- ③ 父の日、母の日、バレンタイン等、お手頃なプチギフト商品を作り販売いたしました。

- ④ 新米と漬物、昆布出汁、週末限定京豆腐・京漬物、飲料関係他、試食販売会を実施いたしました。
- ⑤ 他の道の駅では販売していない話題性のある商品販売等も取入れました。
- ⑥ 全国の日本酒、クラフトビール等を季節毎に入替えを行い人気となりました。
- ⑦ 商品によっては目標販売数を設定し、チーム一丸となり試食販売強化を実施し達成感も味わえました。
- ⑧ キャッチコピーでお客様を引き付けるポップの作成等も行いました。

今年度売上高 158,650 千円 (前年対比 17,991 千円・対比率 112.8%)

【BAKERY しもんぱん】

・BAKERY しもんぱんは従業員の創意工夫が身を結び過去最高の売上となり歓喜に包まれた部門です。今年度は茨城を代表する秋の味覚「栗」を活かした当店オリジナル「生絞りモンブラン」販売が大好評となる他、贅沢パンシリーズやメロンパンフェア・季節限定パンの売上が好調となりました。

主な取組について

- ① 材料高騰に伴い販売価格の値上を2回実施いたしました。
- ② 季節毎にミニフェアを開催、中でもメロンパンフェアが好調となりました。
- ③ 9月中旬から「生絞りモンブランの実演販売」を土日に開催し人気となりました。
- ④ カスミグループ「ブランデ研究学園店」バイヤーに認められ、4回目は「並木店」も加わり好調な売上となりました。
- ⑤ 品質の安定、新商品開発、他店に出向き視察見学、社内ミーティングの強化等、定期的に実施いたしました。

今年度売上高 114,284 千円 (前年対比 11,942 千円・対比率 111.7%)

【お食事処しもん亭】

・繁忙期や土日にはコロナ禍前の満席状態が続き、店内、イートインスペース、屋外テーブル席でも飲食される方が多くなり賑わいを取り戻すことが出来ました。また、献立の入替えやランチメニューの工夫、他県の食材を使用した季節限定献立が女性客に人気となりました。

主な取組について

- ① 食材高騰により販売価格の値上を実施いたしました。
- ② 「鮪解体ショー」を実施したところショーやマグロ購入者で賑わいとなりました。
- ③ 京都の「豆腐」・「油揚げ」・「湯葉」を使用した丼料理が女性客に人気となりました。
- ④ 北海道雄武町フェア「帆立」・「イクラ」・「サーモン」を使用した海鮮丼が好評となりました。
- ⑤ 季節限定ランチメニューには鮪の刺身付を取入れたところ販売数を伸ばし良い結果となりました。
- ⑥ 下妻市ふるさと納税返礼品「お節料理」の販売や、クリスマスオードブルを一般販売いたしました。
- ⑦ 2月3日(土)節分には「恵方巻の実演販売」が過去最高となりました。

今年度売上高 69,054 千円 (前年対比 3,714 千円・対比率 105.7%)

【そば打ちめいじん亭】

・そば打ちめいじん亭は新しい角度から季節献立の見直しを行い、元和食料理人の経験を活かした季節献立の他に弁当開発や製造数も増産し大幅な売上改善となり、その結果過去最高の売上を達成することが出来ました。蕎麦職人、調理やホールスタッフは達成感の味わえた一年となりました。

主な取組について

- ① 食材高騰により販売価格の値上を実施いたしました。
- ② 季節献立は「鰻」、「大海老」、「帆立」、「豚肉」、「野菜」等を使用した蕎麦セットが人気となりました。

- ③ そば汁、つけ汁等にも工夫をこらし提供いたしました。
- ④ 新そばフェアは過去最高の7日間実施、初めて目立つ場所として本館前で開催する他に「ちたけ汁蕎麦」も加えて販売強化をいたしました。
- ⑤ 店内の客席数では限界もあり、そば打ちめいじん亭屋外のテーブル椅子席等も活用し客席数を増やし来場者数も大幅に増加となりました。
- ⑥ 単品の天婦羅、ミニ丼の販売も積極的に販売いたしました。
今年度売上高 62,560 千円 (前年対比 9,727 千円・対比率 118.4%)

【下妻納豆福よ来い】

- ・納豆工場も過去最高の売上高となった背景には、観光需要が高まると納品先の「各道の駅」販売コーナーが賑わい、製造に追われる日々となりました。また、納豆工場がテレビ放映直後には納豆購入者が多くなる他、遠方からの電話注文が多く納豆工場スタッフは嬉しい日々が続きました。

主な取組について

- ① テレビ番組で納豆工場が3回放映され反響が大きく、購入者や電話注文が多くなりました。
(グッドモーニングショー-依田さんの天気予報・昼めし旅・アド街ック天国)
- ② 当駅の販売額、道の駅グループ、スーパーや各地の直売所の売上全てが増加傾向となりました。
- ③ 遠方の道の駅との取引開始
福井県あわら市「道の駅あわら」 愛知県新城市 「道の駅もっくる新城」
山形県西川町 「道の駅にしかわ」 計3施設
- ④ 国道294号線沿いに納豆の看板設置する他、納豆工場の存在を知らせる大型看板を3枚本館や納豆工場付近に設置いたしました。現在、全国には道の駅が1,213ヵ所あるなか納豆工場を併設しているのは唯一当駅だけであり、当駅の看板商品を強くアピールすることが出来た一年となりました。
今年度売上高 62,547 千円 (前年対比 14,877 千円・対比率 131.2%)

【福よ来い宝くじ売場】※手数料収入

- ・前年度、「ドリームジャンボ宝くじ1等前後賞1億円」、「年末ジャンボ宝くじ1等前後賞1億5千万円」が2度当売場から当選者が出ており、高額当選を願うお客様が多く来店され、その結果、過去最高の手数料収入となりました。

主な取組について

- ① 年2回、大宝八幡宮の宮司に依頼し当選祈願祭を実施いたしました。
- ② 高額当選者が出た場合、表示や館内放送で案内し購買意欲を高めることも実施いたしました。
- ③ ジャンボ宝くじ発売最終日は営業時間を30分～45分延長して販売に努めました。
今年度売上高 7,951 千円 (前年対比 1,261 千円・対比率 118.8%)

3、利用状況及び利用拒否等の件数・理由

(1)店舗別の利用者数

店舗名	利用件数(人)
農産物直売	229,512
物産コンビニ	135,687
BAKERY	118,060
お食事しもん亭	48,319
そば打ちめいじん亭	44,539
宝くじ売場	60,258
会議室利用	60
下妻食堂陽陽	86,609
全体来場者件数	723,044

(2)利用拒否等の件数

拒否件数 0 件

4、使用料又は利用料金の収入実態

施設名	利用実績
研修室	4 件 60 人

5、管理経費の収支状況報告書

	項 目	金額
収入	道の販売上高・収入合計(A)	808,801,128
支出	売上原価(B)	480,306,500
	販売費および一般管理費(C)	327,826,510
	人件費	195,207,009
	販売員旅費	551,346
	広告宣伝費	7,222,433
	発送配達費	3,141,691
	販売促進費	958,090
	支払手数料	22,494,323
	リース料	1,952,553
	減価償却費	3,216,363
	地代家賃	145,000
	修繕費	6,299,410
	通信費	1,133,917
	水道光熱費	19,843,547
	租税公課	15,486,488
	寄付金	80,000
	接待交際費	632,609
	保険料	1,855,750
	備品・消耗品費	22,434,367
	管理諸費	11,662,461
	研修会議費	86,589
	車輛燃料費	1,006,952
	貸倒引当金繰入額	209,500
	車輛修繕費	568,600
	委託警備費	611,880
	委託清掃費	10,945,720
	雑費	79,912
	支出合計 (B)+(C)=(D)	
収 支 (A)-(D)=(E)		668,118
営業外収益 (F)		8,636,787
営業外費用 (G)		281,777
経常利益 (E)+(F)-(G)		9,023,128
法人税		2,350,100
当期純利益		6,673,028

6、その他

・今年度は下妻市役所に売上割戻金 21,296,248 円を支払っております。